

## 木づかいガイドライン作成関連資料

## 1 森林組合関連事項

県名	森林組合名	H23 素材生産量 (m <sup>3</sup> )	出荷先	製材品 換算 50% (m <sup>3</sup> )	関連工務店
愛知県	豊田森林組合	21,075	自社（愛知） 本州市売（愛知） 大口（愛知） ホルツ三河（愛知）	10,538	愛知県
	岡崎森林組合	3,984	本州市売（愛知） ホルツ三河（愛知） 西村木材（三重） ヤマガネ商事（愛知）	1,992	愛知県 三重県
岐阜県	恵南森林組合	4,355	東濃共販所（岐阜） 西垣（岐阜） 東海木材総合市場（愛知）	2,178	愛知県 岐阜県
長野県	根羽村森林組合	6,031	自社（長野） 東濃共販所（岐阜） 東海木材総合市場（愛知）	3,016	長野県 愛知県 岐阜県
		35,445		17,724	

## 各森林組合の共通認識

- ① 矢作川下流域で地域材利用による木づかいが進むことにより、持続的な組合経営が可能となる
- ② 持続的な組合経営が可能となることから、地域の雇用・拡大再生産・地域産業の成立・若者定住に結びつく
- ③ 同時に、上流域の森林整備が継続的に推進される
- ④ 上流域の森林整備が推進されることにより、森林の公益的機能が維持できる
- ⑤ 森林の公益的機能の発揮により、下流域の水資源の安定供給が可能となる

以上の理由から各森林組合は、下流域での木づかいが推進されることを望んでいるため、木づかいが流域で推進されるようなブレークスルー（革新的な取り組み・仕組みづくり・サプライズ）に結びつくような「木づかいガイドライン」を作成したい。このた

め、素案の内、特に⑤、⑥、⑦、⑩の項目に力を入れたい。

同様に、「木づかいガイドライン」を木づかいの理想的な形を示して導くことに重点を置き、これを手に取った方が新たな木づかい推進のヒントとなるよう当ガイドラインのオリジナル性にも留意したい。

#### 現時点での内容（案）

- ① 私たち矢作川流域住民にとって木づかいの意味とはなんだろうか
- ② 身近な生活空間の中にある豊かな木のある暮らし・木の魅力
- ③ 子供から大人まで伝えていきたい木と森とそこに活躍する人たち（事例集等と関連付け）
- ④ 木づかいを支える事業体のコンセプトと活動
  - ・ 森林組合 ・ 製材所 ・ 工務店 ・ 建築士 ・ 木材市場 ・ クラフトマン
- ⑤ 流域で使いたい魅力的な木の製品・それを生み出す魅力的な仕組みと活動（提案）
- ⑥ 今進められている木づかいのための様々な研究テーマ・成果・研究者紹介
- ⑦ 流域の木づかいのヒントとなる様々な木づかい事例
  - ・ 個人地域材木造住宅 ・ 地域材公共施設 ・ 森林空間利用 ・ 木育アイテム
- ⑧ 木づかいを進めるための様々な支援策と特典
- ⑨ こうして楽しむ木と森林空間 流域で取り組む木育プログラム 木のマイスター制度
- ⑩ 木の利用推進による持続可能な地域づくりに向けての提案
  - ライフラインを支える森づくり→森づくりを進める木づかい→木づかいによる生業の成立→生業の成立による持続可能な地域づくり・地域活性化・地域産業山村消滅の回避

#### 2 ブレークスルー（革新的な取り組み・仕組みづくり・サプライズ）のためのブレインストーミングのテーマ

木づかいガイドライン作成にあたって部会メンバー等で話し合いたいこと

- ① 身近な生活空間の中にあると良いと思われる木製品・木造施設とは
- ② 過去に見て記憶にあるこれはどう思うような木製品・木造施設とは
- ③ 新しい革新的な木材利用とは
- ④ 皆さんが地域材で木造住宅を建てようとした時に何があるとよいでしょうか
- ⑤ 木使いが進むブレークスルー（革新的な取り組み）とは それはどうしたらできるか
- ⑥ スギダラ・ヒノダラ・広ダラ 矢作川 流域圏をヒノキだらけ、スギだらけにするには
- ⑦ 環境に配慮する企業の木材利用指針をつくるには
- ⑧ 市町村役場・環境教育関連施設の木材使用量を上げるには
- ⑨ 木による幸せの創造とは

3 現時点で木づかい推進のため既存の概念を打ち破るブレークスルーとしての検討項目（案）  
（豊田森林組合林さん・豊田市森林課原田さんとの打合せより）

- ① 県・市町村の枠を外して木づかい推進を進める姿勢
- ② 流域材活用を最優先とするが県産材概念にとらわれず国産材活用を推進していく姿勢
- ③ 岐阜県の岐阜認証材制度と長野県の信州認証材制度の共有化（JASと同等）
- ④ 愛知県での岐阜認証材制度と信州認証材制度の適用（JASと同等）
- ⑤ 理想的な市町村木材利用指針の提示・年度別施設計画表の追加による木づかい推進
- ⑥ 理想的な企業木材利用指針の提示・年度別施設計画表の追加による木づかい推進
- ⑦ 市町村等における公共施設建築分離発注（材料と施工）方法の提案
- ⑧ 間伐材搬出径級に応じた部材提案または部材提供を意図した森林情報管理
- ⑨ 各森林組合の長所学習会の開催による組合体力・連携強化の取り組み
- ⑩ 流域圏の木づかいを推進する木材コーディネーターの検討
- ⑪ スギダラ・ヒノダラ・矢作川 流域圏をヒノキだらけ、スギだらけにする活動提案
- ⑫ 同活動に伴うデザインコンテストの開催
- ⑬ 木材市場のパイロット価格化に向けたシステム検討

4 現時点での協力者

愛知県

愛知県農林水産部林政課

愛知県木材組合連合会

岐阜県

岐阜県林政部県産材流通課

岐阜県産直住宅協会

（株）鷺見製材

長野県

長野県林務部信州の木振興課

県産材販路開拓協議会

5 国・県・市町村の職員の確保について

区 分	森づくり（悩んでいること）	木づかい（悩んでいること）
国	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 森林経営計画の推進</li> <li>・ 流域林業の推進</li> <li>・ 間伐推進</li> <li>・ 国有林の意義</li> <li>・ 国民にとっての森林の在り方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自給率向上</li> <li>・ 間伐材搬出向上</li> <li>・ 木づかい推進</li> <li>・ 木材利用ポイント事業</li> <li>・ 公共施設への木材利用推進</li> </ul>

<p>県</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・間伐推進</li> <li>・森林税の活用</li> <li>・森林経営計画の推進</li> <li>・森林のゾーニング</li> <li>・県民にとっての森林の在り方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村木材利用指針策定</li> <li>・流域林業の推進</li> <li>・自県の木材利用推進</li> <li>・製材工場等の水平連携</li> <li>・木造住宅、公共施設への利用</li> <li>・公共の場での木の快適性PR</li> <li>・工務店の育成</li> <li>・木育推進</li> <li>・新製品開発</li> <li>・木質バイオマス利用推進</li> </ul>
<p>市町村</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林経営計画の推進</li> <li>・間伐推進</li> <li>・壊れない作業道開設</li> <li>・林業専用道開設の是非</li> <li>・架線集材の有効性</li> <li>・林地災害の未然防止</li> <li>・B、C材の活用</li> <li>・林内の未利用材活用</li> <li>・木の駅プロジェクト</li> <li>・市町村民参加の森づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域材の活用</li> <li>・市町村木材利用指針策定</li> <li>・木材製品の見方、使い方の基本</li> <li>・木材製品使用の是非</li> <li>・分離発注の方法</li> <li>・木質バイオマス利用推進</li> <li>・学校など教育関連分野での木づかいと木育</li> </ul>
<p>研究機関等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代に向けた森づくり</li> <li>・更新の考え方</li> <li>・生態系サービス</li> <li>・里山の総合的なコーディネート</li> <li>・里山資源活用と地域活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重ね梁</li> <li>・積層材</li> <li>・多い樹種、多い径級の製品化</li> <li>・建築部材の共通化</li> <li>・スギダラ、ヒノダラ</li> </ul>

ヒント 森づくり・木づかいに関して、問題点、課題、実績づくり、政策提案等、悩みを抱えている国・県・市町村担当者は多いと考えられる。彼らは、多かれ少なかれ悩んでいるので、どうにかしたいという意志があるはず。

そうした意志のある方を、仲間として確保できれば私達のテーマを逆に実現性の高いものとしてつくり上げる必然性や、テーマそのものを彼らが利用できる可能性も高い。

さらに我々一般市民は、専門でないがゆえに、逆に感度的に感じる望ましい地域の森林の在り方や、身の回りの木づかいの在り方について卒直な意見を述べ、これらの視点をガイドラインに盛り込むことで、庶民も感じ取れる、読んで何かに気が付き、行動を起こせるような、心のスイッチをオンにするようなガイドラインになるのではないかと考える。

6 年間計画について

日 程	区 分	内 容
6月29日(土)	全体(根羽)	皆を木の世界に誘うためのブレインストーミング
7月19日(金) 7月20日(土)	森+木	木づかい推進のブレークスルーをするためのブレインストーミング ①～⑨ どうしたらできるか
8月17日(土)	全体(豊田)	木づかい推進のブレークスルーをするためのブレインストーミング ①～⑨ どうしたらできるか
9月13日(金) 9月14日(土)	森+木	木づかい推進のテーマの絞り込み 役割分担決め
10月12日(土)	全体(恵那)	突っ込みゼミ 着地点・決めのポイント出し
11月8日(金) 11月9日(土)	森+木	突っ込みゼミ 着地点・決めのポイント出し
12月14日(土)	全体(岡崎)	ガイドラインイメージ創出 具体的成果を期待する先進的コンセプトターゲットの拾い出し
1月		
2月		

木づかいガイドラインはじめの一步  
皆を木の世界に誘うためのブレインストーミング

原点 1

- 1 皆さんが森や木を好きになったきっかけや原体験、感動した場面はなんでしょうか
- 2 その体験を他の方に知ってもらったり、プレゼントしたいと思いませんか
- 3 そのプレゼントはどうしたできるでしょうか

原点 2

- 1 今皆さんが森や木を前にしてこれではいけないのでは、もっとこうなればなあ、こんなふうになればいいのに、と感じることはありますか
- 2 そんなふう感じたことを、他の方にも伝えて何か行動を起こしたいとは思いませんか
- 3 どんな行動に取り組んだらよいでしょうか

原点 3

今あなたは大好きな森や木について、素敵なお本を作ろうとしています。その本を読むと誰でも眠っている心のスイッチが入ってしまいます。すると、心の中が明るく温かくなって、そして歩もうとする道を照らします。皆が森や木のファンになってしまうような、何か森や木に会いに行きたくなってしまおうような、皆で行動を起こしたくなってしまおうような、何か素敵なお時間が持てそうな予感がする、あなたがこれから作りたい素敵なお本の内容とはどのようなものでしょうか。もし、考えるのが難しかったら、どんなことが書かれている本だったらあなたは購入するでしょうか。

7月20日 第10回 山部会 原点1のブレインストーミング意見

●矢作川流域圏木づかいガイドラインについて

- 森や木を好きになったきっかけや原体験・感動した場面と、その体験を他の方に知ってもらうにはどうしたらよいか」について意見を出し合いました。主な意見は下記です。
  - 幼少の頃から木工が好きで、人工林の間伐を通じて森林にはまっていた。(原田)
  - 森が身近な地域で育った。積木がぶつかり合うときに出る音等、木のもつ感覚がよい。(城田)
  - 子供にとっては、森の手入れに使う道具などはスリルがあると面白い。(齊藤)
  - 小学生の頃、工作で木工玩具を作り、道具の使い方を覚え、その後遊びが本格化した。(石原)
  - 幼少の頃、家族で行く山登りが好きだった。木の匂いは安心感を与えるので好き。(長谷川)
  - キャンプ時の悪天候に木の下で雨宿りをした際に、安心感を覚えたことが印象的。(森)
  - 鎌倉の山と海で育つ。山と海には生きていく知恵が沢山あると感じている。(黒田)

- 生き物と木が好き。木のよさに魅せられ、少し前に自宅を間伐材で張り替えた。(沖)
- 北海道育ち。森には近寄りたくないルールがあったが隠れて遊ぶのが楽しかった。(南木)
- 東京都内でも奥多摩や飯能の山に親しみながら過ごした。小学生の時に作った木工作を先生に褒められたことが印象的。都会の人に山に来てもらってイベントなどをするとよい。(蔵治)
- 学生時代、狭山丘陵で懐かしい風景に出会う。木に抱きつくほど感動し、研究者を志す。(洲崎)
- 子供の頃、犬小屋を木で制作した。登山が好きで、山頂から見る風景に感動している。(今村)
- 次回は「森や木がこんなふうになればいいのに」と感じることや、「そのために取り組む内容」について自分なりに考えておいて頂きたい。(今村)
- 映像、写真、子供の頃に自分で作った作品などがあると議論が盛り上がる。(今村)

## 8月17日 第11回 山部会 原点2のブレーストーミング意見

### ●矢作川流域圏木づかいガイドラインについて

木づかいガイドラインの作成のはじめの一歩として、「森や木を前にして、これではいけないので、もっとこうなればなあ、こんな風になればいいのに」と感じるということについて、ブレーストーミング方式で意見を出し合いました。主な意見は以下です。

#### 【木づかいガイドラインについて】

- 職業柄、木づかいガイドラインの作成は形式から考えてしまうので、今回のやり方は、消費者目線・利用者目線で考えられるためよい。(原田)
- 矢作川流域に住んでいることの意味は、流域市民の暮らしの質が上がる、価値が上がるということにつながる。(相川)
- ガイドラインはみんながわかるものがないとだめ。書店でマイサジが入ったキットを売るなども面白い。(城田)
- 立っている木に親しめる機会があるとよい。森を明るく。歩いて楽しい林にできればよい。(洲崎)
- 木づかいガイドラインと森づくりガイドラインはリンクしていないといけない。(黒田)
- 工務店とのブレーストーミングを通じて意見交換などができるとおもしろい。(蔵治)

#### 【木材利用の推進について】

- 旭の工芸館から依頼があり、木や森に関することを子供たちに伝えるイベントをした。子供は将来性があるので、木の良さをわかってもらえるとうい。木材でつくられた小学校などを通じてPRしたいが、森林組合だけで行うのは困難。(松井)
- 人間のライフサイクルを考えると、どの時代も同時期に同じものを購入しており、木材も今後、チャンスがある。(相川)
- 総無垢のベビーベッドがある。世の中にはファーストウッドという考えもある。(蔵治)
- ファーストウッドで地域振興している上飯田の例がある。(原田)
- 机、ランドセルなど成長に応じて木を用いた製品を使ってもらう手もある。(丹羽)
- 北海道のエコビレッジでは、自分達で使うものを自分たちで作る。生活の中にあるものは意外と自前でできる。(城田)
- 普通の人で作れるものを品目に入れるべきだし、そのようなものの中には雇用を生み出すのはたくさんある。(城田)
- 木の駅プロジェクトに関連し、ちょっとした木工が可能となる機器をおいておけばよい。(南木)
- 日曜大工は道具をそろえればその気になればできる。(丹羽)
- リフォームへの補助金(城田)
- 豊田森林組合では、工具そのものを貸し出すことはしないが、組合で実施する体験学習に参加した方には、使ってもらっている。講座が終わった人がまた使いたいといってくることもある。(松井)

出された意見を発展的に楽しく木づかいガイドラインに活かせるように考えてみました

原点1の意見からは原体験を得られる環境づくりの多くのヒントがあります

- ① 多くの方に自然や人工林での五感的な、感動的な体験があつて、これが今でも心の中にしっかりと残って原体験・原風景となっている。また、こうした体験が現在の森や木に関連する職業や、地域を元気にする仕事に就くきっかけになっている、とも言える。

従って、矢作川の流域の山・川・海で子供たちの原風景や原体験となる場面を提供してあげられると良い。→どこにそのような感動が待っている場所と時間があるのでしょうか。

- ② 森に入る時に自分なりきの準備をしていた。何らかの道具を持って森や山に向かうことは、とてもわくわくする感じがある。自分の生きた時間の始まり、とも言える。

従って、何か自然の中に入っていく時、何か身支度をし、道具を使うことの楽しみがあるような、身支度を整え道具を使いこなすことがかっこいい、という感じを子供たちに与えたい。→どんな身支度と道具が子供たち他に相応しいのか。地下足袋を履いて、鉋を使いこなせるようにするにはどうしますか。何をやってもらいましょうか。メーカーに子供用スペシャルをオーダーしますか。

- ③ 木工工作にのめり込んだ楽しい体験を持つ方が多かった。自分の技能で扱える木材という材料は魅力的である。そして、その工作を褒められたことも忘れられない。

従って、矢作川流域の様々な木を使って、簡単なものから技術が必要になるものまでの木工キットや作り方を教えてあげたい。→材料はどこで入手しますか。どんな材料が使えますか。どんなキットを作ってもらいましょうか。どこで作りますか。

- ④ 家族で山登りをして安心して楽しめ、しかも山の匂いが忘れられない。自然の匂い・香りは印象的でいつまでも素晴らしく安心感を与えてくれる。また、山からの眺めが素晴らしくて山の世界に魅せられてしまった。

従って、自然への興味を高め導く活動として登山はひとつの原点となる。自然の中の真ただ中に一日中、安心して山登りを楽しめるようにしたい。→どんな山に登ったらよいのでしょうか。道中に魅力的なものがあふれていますか。そこにどんな感動が待っているのでしょうか。家族で楽しめるコースはありますか。新たなコースを開拓しますか。

- ⑤ 山の中で雨にあつても木が守ってくれて安心感があつた。自然のふところに抱かれる感じが好き。

従って、山に抱かれる感じ、安心して山の中にいられる感じを教えたい。→山の中で安心して時を過ごし、山の趣を安心して堪能できる場所やアイテム例えば、峠や岩小屋、東屋、テント、タープ、ウッドデッキ、その他の快適アイテムを必要な個所に設けましょう。どんな個所を教え、どこに何を設置すべきでしょうか。



- ⑥ 山と海からは生きていく知恵をもらえる。海を身近に育ったので、山と海があれば海に魅かれてしまう。このことは、子供の頃の原体験がいかになぜと心の中に残ることになるかのひとつの証し、とも言える。

従って、山と海で遊ぶことを通して、自然に身につく知恵を身につけさせてあげたい。教えるというより気がつかせてあげたい。どうやって遊ぶか考えさせよう→海や山で子供たちを自由にさせておくことが必要か。敢えて教えないが、さりげなくやって見せてあげるか。その場所をどこにしますか。

- ⑦ 生き物や木が好き、という感じは子供ならではの感度であり、山や川や海で生き物と出会えるような環境が欲しい。

従って、山・川・海を通して、ここにいくとこんな生き物に出会えるというような情報を提供してあげたい。森や木を含めて自分達と同じ生き物が存在していることを実感させてあげたい。→どこにいくとどんな生き物に出会えるのでしょうか。

- ⑧ 子供時代に自分の力で山に行ける環境であったことが、現在の自分に結びついている。

従って、子供時代から自分達で考える旅を経験させたい。そうすることで、自分で考えて行動するような自立心や探究心を養いたい→子供たちでできる、あるいは流域住民の協力による海から源流部への旅など企画できると面白い。海から源流部へ、または源流部から海へサイクリングロードは作れますか。自転車ショップの協力は得られますか。木のベンチは必要ですか。途中の川べりで東屋は作れますか。

- ⑨ 丘陵地帯などの日本的な懐かしい風景にとっても心を打たれてしまったことが、今の自分に結びついている。

従って、恐らくごく普通の農山村、川、海の風景であっても、夕暮れ時や四季の移ろい時など、急に風景が輝き出す場面がある。それは心の中にしっかり焼きつけられて、故郷や地域を愛する心を育むことにつながる。→子供に見せてあげたい風景を見つけましょう

- ⑩ 自然や森の神秘性を感じられる心、自分達だけの秘密基地など、子供が自ら感じとれる面白い要素を楽しんでいる。

従って、子供たちが自由に楽しめるような森林空間などを設置できるとよい。少し冒険的な要素を持った森であるとか、神秘的な要素を持った森であるとか、意図的な森林空間利用を考えたい→森の持つ神秘性やわくわくする冒険的な要素を持つ森林はどこにあるでしょう。そんな森林空間を演出しましょう

原点2の意見からはガイドラインの性格や盛り込むべき内容について多くのヒントがあります

- ① 利用者目線や消費者目線からのガイドブック作成に意義がある。利用者にとってどのような情報に魅力があるのかがポイントである。
- ② 流域市民の暮らしが上がる・価値が上がることに結びつける。ガイドラインのおかげでライフスタイルの質が上がった、となるようにしたい。
- ③ 市民にとってわかりやすいガイドブックであることや、少しオシャレでもよい。ある意味で行政的でない面白さが必要である。
- ④ 木や森を身近に感じられるような案内や活動提案があると良い。様々な視点から森や木と接することができるので、それを紹介したい。聴診器で木の音を聴くのも、そうした道具があれば楽しめる。
- ⑤ 市民目線を含めて、工務店などの方とのプレーストリーミングを行い、もっと専門家集団の考え方や存在を身近にしたい。私達が普段、木造住宅に感じる魅力や木づかいを推進する考え方を話し合しましょう。
- ⑥ 木や森の専門家による木育活動が大切であるけれど限界があり、地域的に取り組めるような何らかの仕組みが必要である。行政や教育委員会との協力等により、もっと意図的なカリキュラムはできるはず。
- ⑦ 人間のライフサイクルに併せて購入しているものは常に同じ傾向で一定の需要がある。これをもっと意図的に流域環境教育も含めた仕組みとして展開できると木づかいが常に一定の需要を確保しつつ進行する。学童の成長と共に木づかいを進めていく考え方も自然であり、行政や教育委員会との連携も図りたい。
- ⑧ 子供の頃から木に親しむ環境や、ファーストウッドという考え方が流域に定着すると良い。地域住民の木づかいに対するセンスを向上させるような機会を創出した
- ⑨ 生活空間で身近に使うものを自ら作成できるようなお店や仕組みができると木づかいは進むと考えられる。そうした木製品を行政や地域的な仕組みで供給できると雇用が生まれる。
- ⑩ 木の駅プロジェクトは山村の集落を中心として薪づくり等を行うため、集落の公民館等がひとつの交流の場としても成立する可能性が高く、そこに日曜大工の道具等があれば簡単な木製品がそこで作れて、木づかいの推進に結びつく。
- ⑪ 今後、新築着工住宅の減少が見込まれる中でリフォームや内装材の販売は木づかい推進に結びつく大きなポイントであると考えられる。
- ⑫ 材料と道具、作り方などがわかれば今以上にもっと木と接して物作りに取り組む人が増えると考えられる。小学校の工作室の日曜教室や開放等、こうした機会や場を地域でつくりあげていきたい。

## どんな木づかいガイドラインをつくりましょうか（イメージ案）

～人生を楽しみ愛する家族と共に幸せに暮らす

森や木とそれを育む矢作川の流れ共に生きるライフスタイルへの誘い

矢作川ディズ～

森や木とそれを育む矢作川の流れ共に生きるライフスタイルはとても素敵です。身近な生活空間の中に魅力的な木の製品をたくさんとりいれてみましょう。矢作川の流れを見つめ、自然の息吹に耳を傾けてみましょう。愛知・岐阜・長野の3県を流れる矢作川流域圏を対象としたこの木づかいガイドラインには、そんな森や木の魅力や、それを育む矢作川流域の自然環境に出会い、流域に暮らすひとり一人が未来にむけて互に関わり合いながら、豊かで魅力的な地域社会を目指して活動していくヒントがたくさん書かれています。

この本を作った私たちは、森や木の魅力や矢作川の自然環境をたくさんの方々に伝え、森や木や矢作川の自然環境と触れ合うことで市民の輪が広がり、そのことで地域が元気になっていくことを願っている一市民です。それぞれの様々な立場や経験から、森や木や矢作川の流れに対する愛情や想いや妄想もたっぷりこめて、矢作川流域に住む方々のために、もっと森や木を好きになろうよ、もっと地域の木を使ってみようよ、もっと森や木と共に生きている人達と友達になろうよ、そして地域に住むひとり一人が矢作川の自然環境の素晴らしさを共有し、皆で未来に向けて魅力的な森・川・海・街になるようにアクションを起こし育てていこうよ、という考え方を基本にして市民の目線からこの本を作りました。

この本を読むときっと、あなたのライフスタイルが素敵な森や木の製品に彩られることになるでしょう。訪ねてみたくなる森やお店、森や木と共に生きている人と直接会って、話してみたくなることでしょう。もっと多くの同じ気持ちを持つ仲間と出会って、魅力的な地域づくりに参加してみたくなるでしょう。そんなことを通して、あなたの心が今よりもっと明るく朗らかにそして大きく広がって、森や木とそれを育む矢作川の流れと共に生きていく素敵なライフスタイルに目覚められることを期待しています。

こんなライフスタイルは、きっと私たちの暮らすこの矢作川の上流から下流に暮らす人々の交流や結びつきを高めることになるでしょう。今まで以上に流域に住む人々への尊敬や感動、そして地域に対する思いやりの心、協力しあうことの大切さに気がつくことになるでしょう。こうしたライフスタイルの基本となるような、地域とそこに暮らす人々と共に生き愛する気持ちが、矢作川の流れを地域の心の絆として、私たちにとって本来あるべき、そして未来に亘って暮らしやすい持続可能な流域を作り出していくグッドスピリットであることを確信しています。

私達の故郷の源である矢作川の流れを見つめ、いつまでも美しい森と川と海に囲まれて人生を楽しみ、愛する家族と共に幸せに暮らすことができるように、今こそ流域に暮らすひとり一人の住民の意識改革から、この豊かな自然環境を持続可能な財産として皆の手で育み、ずっと暮らしていただきたい魅力的な矢作川流域的生活空間「矢作川ディズ」を創り上げていきましょう。

◎どんな木づかいガイドラインにしますか (イメージ案)

- ①読むと行動したくなる本
- ②読むと人に会いたくなる本
- ③読むと人に話したくなる本
- ④読むと人にあげたくなる本

森 ここにこんな森がある

好きな木のある森

お薦めの木のある森

記念樹の森 (植栽できる場所がある・マイツリーにしてもよい)

矢作川演習林・観察林・サスケ谷・針広混交林

木 ここにこんなお店が こんな素敵なお品

店 流域住民と仲良くなれる店 「矢作川デイズ」のお店 木工のできるお店

道 休める緑陰樹の道 矢作川源流ライン 溪谷と滝の道 マイナスイオンの道

人 ここにこんな人が 生き方 こだわり ポリシー 苦悩 失敗 挫折 モチ

ベーション 色々失敗はあるがモチベーションを失わず明るく前向きに人生

を楽しんでいる感じ 深く矢作川の自然環境を愛している 志のある一般人

(事例集とリンク ただし個人紹介を多くして人の輪を広げる感じで)

取組 ここで森づくり・木づかいの市民参加ができる

ここで木の製品を作れる 木工ができる

ここで森づくり・木づかいの持論を展開できる

ここでこんな木の取り組みをしている 市民編 行政編 業界編 研究編

ここでこんな森や木の取り組み計画があって参加できる

木の駅プロジェクトに参加できる

木づかいの未来に向けた市民による取組を提案できる

木づかい (森づくり) を進める提案 市民編 行政編 業界編 研究編

矢作川絆事業 例 全河川沿香嵐溪プロジェクト

全河川沿緑陰サイクル・ランロード

本 この本 (資料) を読んでほしい ブック (資料) レビュー

この本で人生が変わった 変わる 市井の人たちが勧めるから魅力がある

⑤読むと市民として参加できる本

⑥ 読むとライフスタイルに影響を与えられる本

⑦ 読むといいものと出会ったことを実感させられる (わくわくする) 本

⑧ 自分たちで作ったから人にあげたくなる本

⑨ 自分たちが作っておいて良かったと思う本

⑩ 「矢作川デイズな人たち」を定義してしまう本 (イメージ)

いつも調査してしまう やたら人の輪がある 議論ずき 酒ずき

自然の中に身をおきたがる やたら盛り上がる 木の製品を使わせようとする や

たら山や川や海のスペシャリストが多い 子供の心を持った大人が多い 夕焼けを見ると涙ぐんでしまう 発信できる生き方をしている人が多い こだわりの人ばかりだ イナパワーができてしまう 山と川と海をまとめて楽しんでしまう それも生態や環境負荷についてもよく知っている 自分達で住みやすい環境を作ってしまう

**根羽村森林組合**

差出人: "JIA長野県クラブ" <jia-naga@jeans.ocn.ne.jp>  
宛先: <"Undisclosed-Recipient;"@mv-osn-hkg003.ocn.ad.jp>  
送信日時: 2013年8月28日 9:34  
添付: 0625地域材委員会議事録.pdf  
件名: 2013年度 第二回地域材活性化委員会開催通知  
JIA長野県クラブ

地域材活性化委員会 委員各位

**2013年度 第二回地域材活性化委員会開催通知**

日時 9月10日(火)午後3時より  
場所 松本 飯田屋

第二回地域材活性化委員会を開催します。

昨年より始めた地域材フィールドワークも9月13日の中信地区フィールドワークで当初計画の全県を回り終わる事になりました。

各地域で川上から川下の地域材の流れを学んだ内容をきちんと総括して、今後の地域材活用の活性化に向けての礎にして行く必要があります。

川上 川下 それぞれにお立場でのご提案を頂いて、今後の活動の方向性をまとめていきたいと思えます。

- 1.平成24,25年度 地域材住宅総量のアンケート調査について(実績チェック)  
(原案は新井が作成します)
- 2.各地域の地域材の樹種や基本的な製材製品の寸法表の作成について  
(具体的な活用できる木材情報とは何か考え、それらをまとめる作業を始めます)
- 3.各地域(各製材所等)の具体的な製材品等の仕様表(単価を含めた?)の作成について  
(木曾管材組合等の情報をどうするか??)  
上記2と同じですので、まとめて考えても良いです。  
具体的に山と里とタイアップしていく資料としたい。
- 4.木材以外の地域材素材マップ作りに向けて、素材探し作業  
9月10日までに自分の地域の素材探しをしておき、持ち寄ります。
- 5.上記を含めたフィールドワーク全体の報告書(地域材活性化マニュアル)づくりに向けて  
報告書のまとめ方と、実際に役に立つ資料づくりに向けて考えます。
  - ・各地区での具体的な地域材活用方法について
  - ・各地区での具体的な地域材流通の流れについて
  - ・構法について
  - ・地域材でつくる住まい(建築)の魅力(上記で出来た住宅実例紹介)
  - ・信州に住むという事について(なぜ、地域材で住まいをつくるのか)
  - ・その他 情報発信したい事について
- 6.視察勉強会 11月16日 視察先について  
地域材で出来た会員作品の情報、及び視察したい建築を考えてきてください。  
(出来れば画像等も)
- 7.木材サミットin信州 について  
前回の提案された、報告書作成に合わせて地域材イベントを行うかどうか。
- 8.その他

- ・行政との今後の協働について
- ・各メンバー木材活用についての情報交換他

※出欠席のご連絡は9月6日(金)までに事務局までメールにてお願いします。

新井建築工房+設計同人NEXT 新井優  
〒395-0812  
長野県飯田市松尾代田1324-2  
TEL/FAX 0265-24-2131  
E\_mail: [next2131@coral.ocn.ne.jp](mailto:next2131@coral.ocn.ne.jp)  
HP新井建築房ONLINE  
<http://www3.ocn.ne.jp/~arainext/>

\*\*\*\*\*

○ JIA長野県クラブ 事務局 : 佐藤  
TEL:026-232-3897 FAX:026-232-5303  
携帯:090-8326-7542  
E\_mail:[jia-naga@jeans.ocn.ne.jp](mailto:jia-naga@jeans.ocn.ne.jp)  
URL:<http://www4.ocn.ne.jp/~jia-naga/>

\*\*\*\*\*

平成25年度 第一回地域材活性化委員会 議事録

- 日時 平成25年6月25日午後3時より
- 場所 松本飯田屋
- 出席者 新井優 藤松幹雄 百瀬万里子 清水国寿 星川喜鯨 丸山淳治  
鈴木吉明 北原一樹 川上恵一
- 記録 新井優

■議事

- 1, 北信フィールドワークについて 6月28日開催予定(報告は別紙)
- 2, 中信フィールドワークについて 計画発表  
9月13日(金) 詳細は計画中  
イメージ: 中信・安曇野これからの山づくり 地域材供給のやまづくり  
里山の整備 大規模製材及び発電エネルギー工場の計画  
原木貯木場及び県産木材の見学
- 3, 下伊那、上伊那、東信の各フィールドワークを経ての思い。
  - ・ フィールドワークのきちんとした報告書を作成してJIA長野県クラブ全体で共有できるようにしたい。また、地域材活性化の為にどのようにフィールドワークの経験を活かすのか。一人一人の設計で活かしていける事とは・・・
- 4, 今後の活動計画について(県内フィールドワークを終えて)
  - ・ 各フィールドワーク報告書の作成とまとめ(年度末を目標)
  - ・ 平成24・25年度に長野県クラブメンバーが地域材住宅の総量をアンケート調査。その際、地域材使用量も合わせてお聞きして、当初目標年間200棟へ向けての実績チェックとしたい。
  - ・ 各地の地域材の樹種や基本的な製材製品の寸法表の作成。
  - ・ 木材以外の地域材素材マップ作りに向けて、素材探し作業(9/10予定)
  - ・ フィールドワーク報告書作成に合わせて、発表会及び事例紹介等を行うのに合わせて、木材サミット in 信州等の地域材活性化に向けてのイベントをしたらどうか?(あくまで案です)
  - ・ 視察勉強会 11月16日に予定。(詳細はこれから)
- 5, 長野県の地域材の現状についての情報交換
- 6, 委員会活動費の使い方について

以上



■ 地域材素材探しへのご協力を（木材以外の自然素材）

（6月25日の拾い出し）

東信

- ・ 立岩和紙
- ・ 佐久の鉄平石 望月鉄平石
- ・ 黒曜石 和田村 パーライト
- ・ 浅間軽石

中信

- ・ 山辺石
- ・ 松崎和紙

北信

- ・ 内山和紙
- ・ しば石（松代石）
- ・ 有明砂
- ・ 飯山仏壇 金物

諏訪

- ・ 鉄平石
- ・ 諏訪大工

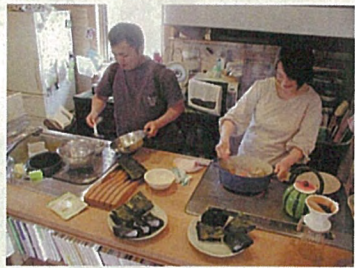
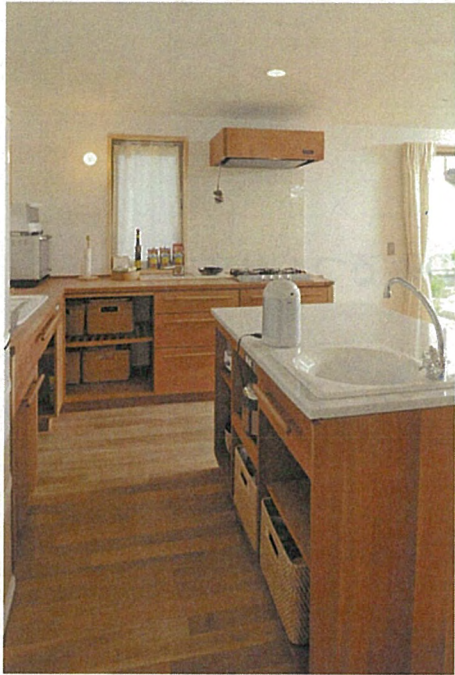
上伊那

- ・ 小波の青石

下伊那

- ・ 山本の赤土
- ・ 山本の山砂
- ・ 下久堅の和紙





## 木のキッチンで、暮らしませんか？

**mammal**  
KITCHEN & LIVING

# スタジオママルは木のキッチンづくりの 最高峰を自負しています

- 1 国産の無垢材・自然素材のみでつくります。
- 2 プロのキッチンプロデューサーが理想のキッチンづくりをお手伝いします。
- 3 ベーシックなデザインを大切にしています。



スタジオママルは、木のキッチンのある暮らしをリードすることを通して、  
喜びにあふれた家族と、人と物が共に支え合って生きる、  
心豊かで持続可能な世の中を創り出しています。

# 国産の無垢材・自然素材のみでつくります

マママルのこだわりは、自然素材の無垢材の活用



使用する材は、すべて**国産の無垢材**です。「すべて」とは、裏側や内側の見えない部材にも100%無垢材を使うということです。また、接着剤にはニカワや米のり、塗装には、エゴマ油・蜜ロウといった、昔ながらの自然素材のみを使います。いわゆる木工用接着剤や、ウレタン・ラッカーなどの化学塗料は一切使いません。（ステンレスワークトップの裏張りにのみ、無溶剤のシリコン系接着剤を点どめで、補助的に使用します。）

素材にもデザインにも、あえて余計な事をしない。その理由は、人ともものが、本来的に持っている力をきちんと生かすためにほかなりません。マママルが目指すのは、立つだけで元気が湧いてくるキッチン、なのです。

「**国産の無垢材のみ、接着剤や塗料まで自然素材のみ**」という両条件を満たしたキッチンメーカーは、全国でも数少ないようです。その中でも、スタジオマママルは「**最高峰**」と言えるキッチンづくりを自負しています。

## マママルのお客様に共通するキーワード

食の安全に対する意識も高く、出産・子育てについても、自然本来の力を生かすことを大切にしている方からの支持を受けています。

### 生活クラブ



日本に600ある生活協同組合の一つ。扱っている商品(消費材)は、全て独自の基準をクリアした物のみ。「国産」「食品添加物は許容された68種のみ」「農薬散布の回数公開」「遺伝子組換え反対」などの取り組みを行っています。マママルのお客様は生活クラブを利用されている方が多いようです。

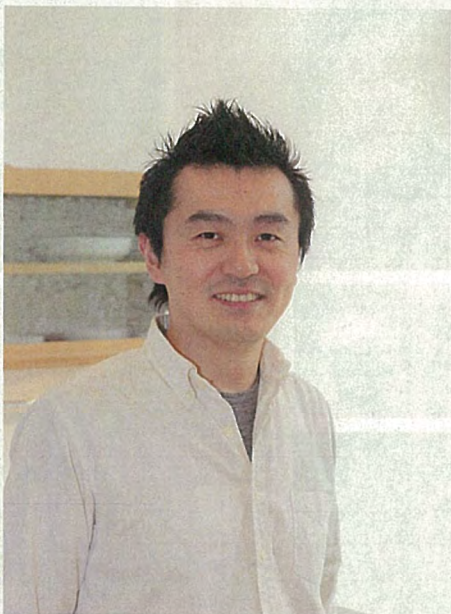
### 助産所での出産

出産は助産所でした！という方が多いです。余計なことをせず、自然に任せたいお産をすることで、母子の身心にとって必要な状態が整うという考え方。まさに、マママルが目指す、自然なものづくりのあり方と共通しています。

### 野外保育 シュタイナー教育

自然とのふれあいや、ものづくり、生活体験を通して、子供たちが本来的に持っている「生きる力」を育む、といった教育方針をお持ちの方から選ばれています。

# プロのキッチンプロデューサーが理想のキッチンづくりをお手伝いします



## プロのキッチンプロデューサーとは

ここで、浦野伸也の経歴を少しご紹介します。

2005年に、木のオーダーキッチンメーカーを立上げ、以来200件のキッチンづくりに携わってきました。

以前は、家具デザイナー・クラフトマンとして、製作もできる限り自身で行っていました。木工の技術や木材に関する体験的な知識は、その時に得たものです。

(しかし、一つのを創り上げるのに膨大な時間と労力を要しました。)

現在、製作については、熟練の技をもった職人さん達に、ご協力いただいています。

2010年には、自身の経験と知識をよりバランスのとれたものにし、一層優れたものづくりをするために「キッチンスペシャリスト」の資格を取得しました。

## ゴールは「立つだけで元気が出るキッチン」

私が最終的に創りたいのは、キッチンというアイテムではありません。お客様に「キッチンに立つだけで元気がでる!」「木のキッチンで暮らせて良かった!」「選んだ自分をほめてあげたい!」と思っていただくこと。ただものを作るだけでなく、その向こうにある暮らし方を創る、という意味でプロデューサーを名乗っています。



## 受注から完了までの流れ

### お客様からのお問い合わせ

ウェブサイト、見学会、雑誌、ショールームなどをご覧になった方から、お問い合わせいただきます。

### インタビューシート

ママルのキッチンづくりは、この「インタビューシート」に取り組んでいただく所から始まります。

取り組むことで、ご自分にとって理想のキッチンとは何か? また、大切にしたいことは何か、明確になります。これは、お打ち合わせの際に、お客様の方から、より自発的に、より具体的にご希望をお伝えいただくための大切な準備段階です。

### お打ち合わせ

まずは、お客様とお打ち合わせ。事前に取り組んでいた「インタビューシート」を元に進めます。

必要に応じて、設計士さん・工務店の担当者さんをお打ち合わせを重ねます。

### デザイン・設計

姿図・配置図・お見積りのファーストプランを、メールなどでご提案します。修正の打ち合わせは、通常、ショールームにお越しいただいておりますが、場合に応じて、電話やメールなどでも対応しています。

### 契約

プランが固まったら、お客様と製作契約を交わします。ケースによっては、建築会社さんとの契約の場合もあります。

### 提携工房による製作

ニカワでの接着など、ママルが標準とする素材や製作技術を全てご理解いただいている提携工房にて、実際の製作に入ります。設備機器等の手配も、同時に行います。

### 関連業者さんとお打ち合わせ

設置工事にあたって、電気・ガス・水道・左官業者さん等の関連業者さんとお打ち合わせを行います。

### 工程の管理・設置工事の立会い

### 完成

お引渡し時には、お手入れ方法などの使用説明を行います。

### フォロー

木の伸縮による不具合には、設置後1年間、無償で対応します。その後のお手入れの悩みなどお気軽にご相談いただけます。

# ベーシックなデザインを大切にします



## 飽きずに永く使い続けるために

今の時代にかっこいいもの、最先端のデザインのものを作ると、10年後には「10年前にかっこよかったもの、最先端だったもの」になってしまいます。

木のキッチンを、100年でも使い続けられるよう、丈夫に作ることはそれほど難しいことではありません。しかし、見た目が好みでなくなれば、人は捨てて、より新しいものが欲しくなってしまう。これが現実です。どんなによいものもゴミとなり、環境負荷となります。だからこそ、かたちが時代遅れといった理由で捨てられることがないように、できるだけ普遍的で「ベーシックなデザイン」であることを大切にしています。

## 使う人たちの変化に対応していけること

キッチンは10年、20年と永きに渡って使い続けるもの。その間には家族も成長し、暮らし方や持ち物も変わるでしょう。そんな使う人たちの変化に柔軟に対応していけるよう、収納などの機能面については、あえて作り込みすぎず、機能満載にならないよう心がけています。

家族の成長や変化に応じて必要になったその時に、手直しや改造を加えていける余地を残しておくことが大切と考えています。

## 素材そのまま、誰の手にも負えること

化粧合板やウレタン塗装などが施されたキッチンは、新しい当初は扱いやすいかも知れませんが、表面がめくれたり、塗装がはげたりして傷んでくると、もう素人の手には負えません。

無垢の木をそのまま使ったキッチンは、キズや痕がついた時でも、軽くサンドペーパーをあてて、蜜ロウを塗りなおしてやれば元通り。誰の手にも負えるものにするため、自然の素材をそのまま使い、複雑な仕上げをしないよう努めています。

使い手自身がメンテナンスできないものは作らない。それが作り手としての責任と考えています。

# 施工例／O邸



## 普段づかいの台所とお菓子教室の、2つの顔を持つキッチン

元パティシエの奥様。将来、友人を招いてお菓子作り教室をしたいという夢をお持ちでした。そこで、壁沿いのL型キッチンと向かい合うように、小さなアイランド作業台を設け、天板はお菓子づくりなどに適した天然大理石に。パーティシンクも備え、数人での作業もスムーズです。アイランドキッチンには、かさばる家電類や雑誌などの生活小物がすっきりと納められています。

DATA

夫婦＋お子様1人

使用材：ヤマザクラ、天然大理石

キッチン本体 … 140万円

設備機器（レンジフード、コンロ、水栓） … 20万円

設置工事費（輸送費込） … 15万円



# モデルキッチン (スタジオママル・ショールーム)

ママルがご提案する、これからのキッチン。  
それは、みんなが集まる、リビングみたいな居心地のキッチンです。



## テーブルみたいなキッチン (a.b)

奥さんが一人ぼっちで家事をするなど、昔の話。これからのキッチンは、家族や気のおけない友人たちと楽しく家事をこなす場所。調理器具は、オープン収納で誰もが使いやすく。ダストボックスは、引出収納でスマートに。暮らし方のシチュエーションに合わせて、その都度ベストなアイデアをご提案します。

## 収納力の高いキッチン (c)

ものが多い。しかも形が不揃い。ものを出しっぱなしにせず、すっきりとした見た目を保ちたいという方にご提案したいキッチン。プルモーションを使った引き出しは、たくさん入れても軽々引き出せる上、中身が揺れないので、食器の収納にも適しています。



## 使える吊り戸棚 (d)

天井いっぱいの吊り戸棚は、もうやめませんか？手が届かないから、仕舞いっぱなし。一年以上開けてない…なんて話をよく聞きます。ママルがご提案するのは、使いたくなる吊り戸棚。はね上げ式の扉は、開けた状態でキープするので、作業の邪魔になりません。閉めるときは、途中で手を離せば、静かにセルフクローズします。



## 木のハンドル ガラス扉 (f)

一本一本手作りのハンドルは、手にあたたかく、ホッと握り心地。雰囲気のある型ガラスはいかが？ディティールのことだけど、毎日何度もふれるものだから、とことん「お気に入り」にこだわriませんか？そんなこだわりに、ママルも、とことんお付き合いします。



DATA

使用材 … シンク側/ヤマザクラ、コンロ側/クリ  
本体価格 … シンク側/65万円、コンロ側/55万円、吊り戸棚/10万円  
設備機器 (レンジフード、コンロ、水栓) … 20万円

# ショールームのご案内



あなたの理想のキッチンについて  
楽しくお話しませんか？

長野県松本市新橋 6-16  
ライフスタイルマーケット 1階  
tel: 0263-87-7056 fax: 0263-88-7013

### 車でお越しの場合

高速道路松本ICを下車し「松本市街方面へ」進みます。  
→ 渚1丁目の交差点を左折したら、そのまま直進。→ 新橋の交差点を過ぎてまもなく、左手にヨーロッパ民家風のインテリアショップ「ライフスタイルマーケット」が見えます。こちらの1階です。

### ご見学だけの場合…

営業時間と定休日は、ライフスタイルマーケットと同じです。  
スタッフ不在の場合もありますので、ご相談等でお越しの際は、あらかじめお問い合わせいただくと確実です。

【営業時間】10:00～19:00 【定休日】不定休

### ご相談・お打ち合わせを希望の場合は…

キッチンプロデューサー・浦野へのご相談でお越しの際は、お電話またはウェブでお問い合わせいただけますよう、お願いします。

【営業時間】10:00～19:00 【定休日】火曜日



## オーダーについて

スタジオマルでは、お客様にとっての「理想のキッチン」についてお聴きするインタビューに始まり、デザインや設計士さん・建築会社さんとの綿密なお打ち合わせ、施工の管理、そして普段のお手入れ方法のサポートまで、一貫したキッチンプロデュースを行っております。

- 施工範囲** : 関東～中京圏（その他の遠方につきましてはご相談下さい）
- 納期目安** : 製作契約後、約2ヶ月～。（プランニングは6ヶ月以上前からスタートされることをおすすめします）
- 予算目安** : 壁付け1型（巾2700mm）／キッチン本体50万円～  
アイランド型（巾2700mm）／キッチン本体70万円～  
食器・家電棚等／本体25万円～    ダイニングテーブル／15万円～

- ※ 機器類は含んでいません。お施主さまからの支給も歓迎いたします。
- ※ 設置工事費が別途必要です。（長野県内で10万円前後。遠方の場合はプラス実費となります）



## ウェブサイト

<http://mammal.jp>

施工例や、完成見学会などイベントのお知らせはこちらから。  
各種お問い合わせも、メールフォームからどうぞ。  
ブログ『スタジオマルのつれづれ日記』もご覧下さい。